

学会参加者へのご案内

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大を受け、本会は現地開催とWEB開催を併用したハイブリッド開催とし、発表者・司会者・参加者の皆様が現地でもWEBでもご参加いただける会とします。

当日、現地会場にご来場いただく皆様におかれましては、以下の感染対策にご協力をお願いします。

※ご来場の皆様へご協力のお願い※

- ・37.5度以上の熱、味覚・嗅覚障害、息苦しさ（呼吸困難）、咽頭痛などの症状がある方や全身倦怠感など感染兆候のある方は、現地参加はご遠慮いただき、WEB参加への切り替えをお願いします。
- ・長良川国際会議場1F市民ギャラリーの受付付近に、検温器を設置いたしますので、検温にご協力ください。
- ・館内では常時マスクの着用をお願いします。また、「咳エチケット」の励行をお願いします。
- ・館内設置の消毒液や、手洗いなどでこまめな手指の消毒をお願いします。
- ・密集を避けるため、会場の定員を制限している場合があります。会場によっては、座席数に限りがありますことをご了承ください。
- ・手渡し配布は原則行いません。必要な資料等は施設内に積み置きますので、お手数ですが各自でお取りください。
- ・お持ちのスマートフォンに接触確認アプリ（COCOA）のインストールをお願いします。
- ・発症時や万が一クラスターが発生した場合に備え、いつどこで誰と会ったか、行動記録をお願いします。
- ・会期前後も感染防止のための適切な行動（例：打ち上げ等における感染リスクのある行動の回避）をとるようご協力をお願いします。

1. 受付

学会参加受付は下記の通り行います。

受付場所	11月5日（金）	11月6日（土）	11月7日（日）
長良川国際会議場 1F 市民ギャラリー	11：00～19：00	7：45～18：00	7：45～14：30

※会期中の新規入会および年会費の手続きは総合受付内「新入会年会費受付」にて行います。

2. 学会参加費

参加区分	事前参加登録 10/4～11/3		当日参加登録 11/5～7	
	現地参加	WEB参加	現地参加	WEB参加
医師・企業・一般	9,000円		10,000円	
メディカルスタッフ（薬剤師、看護師、検査技師など）・ 大学院生 ^{*1}	7,000円		8,000円	
初期研修医 ^{*2}	無料		無料	
大学生 ^{*1} ・留学生 ^{*1}	無料		無料	

*1：学生証をご提示ください。

*2：「初期研修医証明書（Word）」をHPよりダウンロードして必要事項をご記入の上、ご提出ください。

※学生証および初期研修医証明書のご提出がない場合は一般区分となり、一般の参加料金を申し受けます。

3. プログラム・抄録集

会期中、総合案内にて1冊2,000円で販売します。

数に限りがございますので、会員の方は必ずご持参いただきますようお願い申し上げます。

4. 会員懇親会

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大を受け、開催中止とします。

5. クローク

会場内にご用意はございますが、感染対策のためできる限りご宿泊施設にお預けいただくなどご協力をお願いします。

受付時間は下記のとおりです。

受付場所	11月5日（金）	11月6日（土）	11月7日（日）
長良川国際会議場 1F 市民ギャラリー	11：00～19：15	7：45～18：45	7：45～17：15

6. 写真撮影・ビデオ録画について

会期中、発表演題に関する写真撮影・ビデオ録画は一切禁止します。

7. ランチョンセミナー整理券配布について

ランチョンセミナーは、整理券制です。

各日お一人1枚限り、先着順で配布します。なくなり次第終了となりますので、ご了承ください。

なお、整理券はセミナー開始5分経過後無効となります。

整理券の配布日時・場所は下記のとおりです。

配布場所	配布時間	
	11月6日（土）	11月7日（日）
長良川国際会議場 2F メインホール ロビー	8：00～13：00	8：00～12：20

※お弁当・資料等は会場前に積置きますので、各自でお取りください。手渡し配布はございません。

8. 開催プログラムについて

	会長講演	会長特別企画	特別講演	招請講演	教育講演	シンポジウムワークショップ	ジョイントシンポジウム合同シンポジウム	パネルディスカッション	感染症入門講座	日本感染症学会男女共同参画推進委員会企画	一般演題（口演）	一般演題（Short Presentations）
現地開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×（※1）
LIVE配信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
オンデマンド配信	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	感染症西日本論文発表会	感染症中日本受賞講演	化学療法受賞講演	学術奨励賞選考セッション	活性化委員会推薦演題	抗菌薬適正セミナー	症例から学ぶ感染症セミナー	共催セミナー	ニュードラッグセミナー	ICD講習会		
現地開催	○	○	○	○	○	○（※2）	○	○	○	○（※2）		
LIVE配信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○（※2）		
オンデマンド配信	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		

※1：感染拡大防止のため現地会場でのポスター掲示はありません。WEB配信ページへの掲載のみとします。（口頭発表はございません）

※2：ご参加の場合は、学会とは別に参加申し込みが必要です。

9. 単位取得

第91回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第64回日本感染症学会中日本地方会学術集会および第69回日本化学療法学会西日本支部総会の参加者は、現地参加/WEB参加問わず下記制度の単位を取得することができます。

※学会参加証（氏名を記載したネームカード）は1）～9）の申請に必要ですので大切に保管してください。

合同開催のため学会参加単位は、3回分とはカウントされません。

- | | |
|---------------------------------|-----|
| 1) 日本感染症学会専門医制度更新 | 5単位 |
| 筆頭演者は更に | 3単位 |
| 2) 日本化学療法学会抗菌化学療法認定医・指導医認定制度 | 5単位 |
| 3) 日本化学療法学会抗菌化学療法認定歯科医師・指導医認定制度 | 5単位 |
| 4) 日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師制度 | 5単位 |
| 5) ICD制度協議会更新 | 5単位 |
| 筆頭演者は更に | 2単位 |
| 6) 日本看護協会の自己研鑽ポイントとして申請が可能 | 3単位 |
| 7) 認定臨床微生物検査技師（CMTCM） | 3単位 |
| 8) 感染制御認定臨床微生物検査技師（ICMT） | 3単位 |
| 9) 日本医真菌学会専門医更新 | 2単位 |
| 司会・座長・演者（いずれか）は更に | 2単位 |

■日病薬病院薬学認定薬剤師制度

対象セッションは、第91回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第64回日本感染症学会中日本地方会学術集会・第69回日本化学療法学会西日本支部総会ホームページでご確認ください。

<現地参加の場合>

セッション終了後に、セッション開催会場前にて認定シールを配布いたします。

<WEB参加の場合>

視聴ログを確認後、視聴者に認定シールを送付いたします。

※「日病薬病院薬学認定薬剤師制度」と「日病薬感染制御認定薬剤師認定制度」の単位を2つ取得することはできません。どちらか一方で単位を取得してください。詳細は、日本病院薬剤師会にお問い合わせください。

■日病薬感染制御認定薬剤師認定制度

以下のセッションが、日本病院薬剤師会が認定する「感染制御領域の講習会」90分（0.75単位）として承認されています。なお、申請時には、日病薬病院薬学認定薬剤師制度の認定シールも合わせて必要となります。

・シンポジウム2

「インフルエンザ診療の進歩～診断から抗インフルエンザ薬の使い分けまで～」

11月5日（金）12：30～14：00 第5会場

・シンポジウム15

「術後感染症予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン」

11月7日（日）13：20～14：50 第7会場

- ・パネルディスカッション3

「AST加算に応じた抗菌薬適正使用支援のアプローチ」

11月7日（日）13：20～14：50 第5会場

<現地参加の場合>

セッション終了後、セッション開催会場前にて受講証を配布いたします。

<WEB参加の場合>

セッション終了後、視聴サイトより受講証を取得してください。

10. 日本感染症学会指導医講習会

- ・シンポジウム3

「施設内薬剤耐性菌の現状と対策」

11月5日（金）12：30～14：00 第7会場

- ・シンポジウム10

「COVID-19の治療薬の実際」

11月7日（日）8：40～10：10 第1会場

参加者10単位

事前申し込みは必要ありません。プログラム開始10分前から会場前にて参加票を配布し、プログラム終了後に参加票を回収します。

※WEB参加の場合：WEB視聴のログを確認し、後日専門医審議会より単位登録完了メールを配信します。

11. 抗菌化学療法認定医制度審議委員会が指定するプログラム（日本化学療法学会）

シンポジウム14「気道感染症の抗菌薬適正使用に関する提言」

11月7日（日）13：20～14：50 第2会場

参加者10単位

事前申し込みは必要ありません。プログラム開始10分前から会場前にて参加票を配布し、プログラム終了後に参加票を回収します。

※WEB参加の場合：WEB視聴のログを確認し、後日運営事務局より受講証明書をメールで配信します。指定した時間内にログの記録がなかった場合は単位を付与することが出来ませんのでご注意ください。

12. 抗菌化学療法認定薬剤師認定委員会が指定したプログラム（日本化学療法学会）

パネルディスカッション3「AST加算に応じた抗菌薬適正使用支援のアプローチ」

11月7日（日）13：20～14：50 第5会場

参加者10単位

事前申し込みは必要ありません。プログラム開始10分前から会場前にて参加票を配布し、プログラム終了後に参加票を回収します。

※WEB参加の場合：WEB視聴のログを確認し、後日運営事務局より受講証明書をメールで配信します。指定した時間内にログの記録がなかった場合は単位を付与することが出来ませんのでご注意ください。

13. 第34回症例から学ぶ感染症セミナー

11月7日（日）8：40～10：40 第5会場

※当セミナーは日本化学療法学会抗菌化学療法認定医・指導医制度「審議会が推薦する抗菌薬適正使用に関するプログラム（5単位）」に該当します。

※WEB参加でも単位取得が可能ですが、その場合も事前申し込みが必要です。WEB視聴のログを確認し、申込者には後日参加証を送付します。

14. 第61回抗菌薬適正使用生涯教育セミナー

11月5日（金）15：50～18：50 第1会場

参加者15単位

現地参加の場合は、事前申し込みが必要となります。受講希望の方は、日本化学療法学会ホームページからお申し込みください。（電話、ファックス等による受付はいたしません）

参加の際には、合同学会参加費をお支払いください。

※WEB参加の場合は、日本化学療法学会ホームページからの事前申し込みは不要です。WEB視聴のログを確認し、後日運営事務局より受講証明書をメールで配信します。指定した時間内にログの記録がなかった場合は単位を付与することが出来ませんのでご注意ください。

15. 第370回ICD講習会

11月7日（日）15：30～17：00 第1会場（長良川国際会議場 メインホール）

現地参加・WEB参加いずれの場合も事前申し込みが必要です。ICD制度協議会ホームページからお申し込みください。

※WEB参加については専用URLをICD制度協議会よりご案内します。

※遅刻・早退の場合、聴講は可能ですが、単位は認められませんのでご了承ください（WEB参加も同様です）。

16. 第64回日本感染症学会中日本地方会学術奨励賞のご案内

第64回日本感染症学会中日本地方会学術集会では40歳以下（発表当日）の筆頭発表学会員を学術奨励賞の授与対象としています。

日本感染症学会中日本地方会学術奨励賞内規

平成11年10月22日制定

平成14年11月9日改定

平成26年4月3日改定

平成27年10月15日改定

平成29年10月27日改定

令和2年11月6日改定

1. 選考対象者および受賞者

受賞者については当該の中日本地方会総会で発表された一般演題のうち、基礎分野と臨床分野から40才以下の演者を選考対象とし、その中から基礎部門1名、臨床部門2名以内をえらぶものとする。ただし、過去に受賞した演者および、すでに学会誌等に受理された内容の演題は選考対象としない。

2. 選考方法

事前に中日本地方会学術奨励賞小委員会で、抄録を査読し選別された演題について、基礎部門と臨床部門の中日本地方会学術奨励賞選考セッションを構成し、座長ならびに小委員会から選任された2名、学術集会長が指名する1名の計4名が点数方式で当該演題を採点し、採点結果をもとに小委員会で受賞者の選考結果を学術集会長および地方会代表へ報告し、承認を得る。

3. 発表と表彰

学会期間中に受賞者を発表し、その後に会場内に掲示する。次年度の中日本地方会学術集会の受賞講演セッションにおいて、地方会代表が表彰状と副賞を授与する。

4. 副賞

副賞は賞金とし、1名につき5万円とする。

5. 受賞者の義務

受賞者は次年度の中日本地方会総会の抄録集に1500字程度の抄録を掲載するものとする。

また受賞者はできるだけ早い機会に学会誌等に投稿し、その論文に本学会の学術奨励賞を受賞した研究であることを明記するものとする。投稿した論文の別冊を中日本地方会事務局へ送付する。

17. 第63回日本感染症学会中日本地方会学術奨励賞受賞講演

〈基礎部門〉

「リポ多糖を欠損したコリスチン耐性 *Acinetobacter baumannii* は好中球やβ-ラクタム系抗菌薬により容易に殺菌される」

鴨志田 剛（京都薬科大学 微生物・感染制御学分野）

〈臨床部門〉

「当地域で同時期に多発した肝蛭症4例の報告」

隈部 綾子（公立豊岡病院 総合診療科）

〈臨床部門〉

「介護老人保健施設でのCOVID-19クラスターに対する医療チーム介入の検討」

齊藤麻由子（富山大学附属病院 総合診療科）

18. 日本化学療法学会西日本支部支部長賞および支部奨励賞のご案内

日本化学療法学会西日本支部総会では2006年度より、下記の要綱に従い、西日本支部支部長賞および支部奨励賞を選定いたしております。

日本化学療法学会西日本支部支部長賞・支部奨励賞要綱

(目的)

第一条 日本化学療法学会西日本支部（以下、化療西支部と略す）は、学術集会の活性化を目的として、化療西支部総会で発表された一般演題を基礎演題と臨床演題とに分け、それぞれの中から、最も優秀な演題に日本化学療法学会西日本支部支部長賞（以下、支部長賞と略す）および賞金、次点に日本化学療法学会西日本支部奨励賞（以下、奨励賞と略す）および賞金を授与する。支部長賞および奨励賞とも、2題ずつが選考される。

(対象)

第二条 受賞の対象は、日本化学療法学会会員で、当該年の化療西支部総会で発表した一般演題とする、同一個人は2回まで受賞できる。

2. 演題内容は過去に学会発表もしくは投稿されたものと同一であってはならない。もしこの規定に抵触する演題が受賞候補に推薦された場合（具体的には活性化委員会推薦演題セッションでの発表にノミネートされた場合）は、すみやかに化療西支部事務局に申し出ることにする。

(賞金)

第三条 賞金は、当該年度の化療西支部予算の範囲内とする。

2. 支部長賞は1件10万円、奨励賞は1件7万円を授与することとする。

(選考)

第四条 選考は、複数の当該化療西支部総会プログラム委員および同会長が指名する審査委員による審査結果を基に、会長が決定する。選考結果は、当該総会終了後の日本化学療法学会雑誌に掲載するとともに、ホームページに公開する。

(受賞に対する義務)

第五条 受賞者はその研究成果を日本化学療法学会雑誌、Journal of Infection and Chemotherapyまたは、他の学術雑誌のいずれかに筆頭著者として投稿する。日本化学療法学会雑誌以外の雑誌に投稿した場合は、その原著が受け付けられた時点で、1600字程度の概要を日本化学療法学会雑誌に載せる。

2. 本賞を受けた研究を原著にする際には、受賞した旨を、付記する。

(実施)

第六条 本要綱は、2006年12月に制定し、2006年度の第54回化療西支部総会から実施する。

(附則)

本賞の受賞対象者は、学会発表の時点で40歳以下の者とする。この附則は2013年度の第61回化療西支部総会から適用する。

19. 第15回(第68回日本化学療法学会西日本支部総会:柳原 克紀会長、2020年、福岡)受賞演題
日本化学療法学会西日本支部 支部長賞

〈基礎部門〉

「多剤耐性*P. aeruginosa*と*A. baumannii*による人工呼吸器関連肺炎マウスモデルに対する新規注射用
抗菌薬セフィデロコルの有効性評価」

太田 賢治(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 病態解析・診断学)

〈臨床部門〉

「バンコマイシン初回トラフ濃度に及ぼす体格指数(BMI)の影響に関する検討」

櫻井 紀宏(大阪市立大学 医学部附属病院 感染制御部)

日本化学療法学会西日本支部 支部奨励賞

〈基礎部門〉

「*Stenotrophomonas maltophilia*出血性肺炎マウスモデルの確立とキノロン系薬の有効性」

井本 和紀(大阪市立大学大学院 医学研究科 臨床感染制御学)

〈臨床部門〉

「非透析腎機能障害者(クレアチニンクリアランス \leq 60mL/min)におけるリネゾリド初期投与
および維持投与量の検討」

川筋 仁史(富山大学附属病院 感染症科)

20. 日本化学療法学会西日本支部活性化委員会特別賞のご案内

日本化学療法学会西日本支部総会では2009年度より、下記の要綱に従い、西日本支部活性化委員会特別賞を選定いたしております。

日本化学療法学会西日本支部活性化委員会特別賞要綱

(目的)

第一条 日本化学療法学会西日本支部（以下、化療西支部と略す）は、その学術集会の活性化を目的として、化療西支部総会で発表された一般演題から、優秀な演題1題に日本化学療法学会西日本支部活性化委員会特別賞（コメディカルを対象）として賞状ならびに副賞として賞金を授与する。

(対象)

第二条 受賞の対象は、日本化学療法学会会員が当該年の化療西支部総会で発表した一般演題とする。但し、受賞者はコメディカルすなわち、薬剤師、看護師、臨床検査技師などに限定する。同一個人は2回まで受賞できる。

2. 演題内容は過去に学会発表もしくは投稿されたものと同一であってはならない。もしこの規定に抵触する演題が受賞候補に推薦された場合（具体的には活性化委員会推薦演題セッションでの発表にノミネートされた場合）は、すみやかに化療西支部事務局に申し出ることにする。

(賞金)

第三条 賞金は、当該年度の化療西支部予算の範囲内として、5万円を授与することとする。

(選考)

第四条 選考は、複数の当該化療西支部総会プログラム委員、化療西支部活性化委員会委員および同会長が指名する審査委員による審査結果を基に、会長が決定する。選考結果は、当該総会終了後の日本化学療法学会雑誌に掲載するとともに、ホームページに公開する。

(受賞に対する義務)

第五条 受賞者はその研究成果を日本化学療法学会雑誌、Journal of Infection and Chemotherapyまたは、他の学術雑誌のいずれかに筆頭著者として投稿する。日本化学療法学会雑誌以外の雑誌に投稿した場合は、その原著が受理された時点で、1600字程度の概要を日本化学療法学会雑誌に載せる。

2. 本賞を受けた研究を原著にする際には、受賞した旨を、付記する。

(実施)

第六条 本要綱は、2009年10月に制定し、2009年度の第57回化療西支部総会から実施する。

(附則)

本賞の受賞対象者は、学会発表の時点で40歳以下の者とする。この附則は2013年度の第61回化学療法西支部総会から適用する。

21. 日本化学療法学会西日本支部活性化委員会 特別賞

第12回（第68回日本化学療法学会西日本支部総会：柳原 克紀会長、2020年、福岡）受賞講演

「歯科口腔外科処置時における血糖コントロールと抜歯後感染症の関連性の検討」

柴田 祐一（愛知医科大学 薬剤部）

「eGFR10～40ml/min/1.73m²の患者におけるテイコプラニンの高用量負荷投与に関する検討」

山田 愛子（公立陶生病院 医療技術局 薬剤部）